

2016年 学校法人上智学院 年頭式典
～新たな上智学院の歴史と一緒に切り開くために～

1. プロローグ：健やかで幸いな年でありますように

新年明けましておめでとうございます。旧年中の皆様のお働きに感謝申し上げますと共に、この2016年が、神様からの祝福に満たされ、教職員の皆様とご家族にとりまして健やかで幸いな年でありますようお祈り申し上げます。

今年4月いよいよ上智学院と栄光学園、六甲学院、広島学院及び泰星学園の5つの学校法人が合併し、新しい歴史の一頁が刻まれます。本日は栄光学園の理事長と校長がこの式典に出席されていますので、このあとの祝賀会の場でご紹介をさせていただきます。

昨年11月、天皇皇后両陛下主催の赤坂御苑での秋の園遊会に招待を受け、再び両陛下にお目にかかるという大変光栄な機会に恵まれました。微笑をもって目を留めてくださった天皇陛下に、2013年11月1日の上智大学創立100周年記念式典にご臨席を賜った御礼をあらためて申し上げますと、陛下は「その後も順調に進んでいますか」と話しかけてくれました。100周年の式典の折、お見送りに出た私に「これからもいい大学であり続けてください」との励ましを賜ったのですが、それを受けてのお言葉だとすぐにわかり、胸が熱くなりました。上智のその後を気にかけてくださっていたからです。

2. GL2.0の将来構想の実現に向けた進捗状況

100周年を祝った2013年、上智のミッションを「叡智(ソフィア)が世界をつなぐ Sophia - Bringing the World Together」と定め、グローバル化やIT革命が進み、18歳人口が激減していく今後を展望しつつ、上智学院将来発展構想「グランド・レイアウト 2.0」(以下「GL2.0」と表記する)を公表しました。その改革構想は2014年度から実現に向けてスタートし、今年はその3年目を迎えます。ここではその進捗状況を大きく3点紹介しましょう。

1) 法人合併

まずは、先ほども言いかけた栄光学園、六甲学院、広島学院及び泰星学園との法人合併により、4月1日付で新しい学校法人上智学院が誕生します。“Men and Women for Others, with Others”(他者のために他者とともに生きる)というイエズス会の教育精神を共有する私たち5法人は、この合併によって高等教育と中等教育をより緊密に連携させ、「イエズス会教育の深化」、国内外の「幅広いネットワーク教育の構築」、世界の持続的発展をリードする「次世代の担い手の養成」を目指して協働していきます。これに応じて皆さんにも視野を大きく広げ、発想も転換させて仕事をしていただくこととなりますが、よろしく願いいたします。

また、合併後の4月からは新たにイエズス会高等教育担当理事と中等教育担当理事が加わり、現在の理事9人監事3人体制が理事15人監事4人体制となります。それに先立って、この2月に理事の異動がありますので、ここで紹介します。長年、総務担当及びグローバル化推進担当の理事として上智の発展のために尽力してこられた山岡三治理事が、4月よりイエズス会日本管区本部の管区長補佐に就任されるため2月一杯で退任されます。考えようによっては、管区本部に上智のよき理解者が増えることになるわけで、山岡理事にはこれまで以上にご協力をお願いしたいと思っています。後任は、総務担当に現カトリック指導担当の佐久間理事が、グローバル化推進担当の理事には現地球環境学研究科委員長のジョンジョセフ・プテンカラム教授が就任します。特にプテンカラム次期理事には、カトリックとイエズス会のネットワークを活かして母国インドの諸大学との連携を強化する大きな役割を担っていただきます。

2) ガバナンス改革

第二はガバナンス改革です。GL2.0に掲げた数々の構想を実現していくためには、その基盤となるガバナンス体制の整備が欠かせません。その一環で、2016年度に実施される次期の山岡三治選任から、新しい手続きと方法で選任が行なわれます。今回の改正は、GL2.0が目指す、教育・研究と社会貢献において卓越した高等教育機関であり続け「世界に並び立つ大学」へと発展するために、学長主導での改革推進体制を打ちたてようとするものです。

その関連で、「グランド・レイアウト 2.0の進捗状況に関する調査」が11月24日から12月8日まで実施されました。教職員の80%が回答してくださったようで、皆様のご協力に感謝申し上げます。この調査は、GL2.0の進捗状況を把握して課題分析を行うと

もに、日々変化する社会状況に対応した今後の学院の方針策定に資することと、次期上智大学長の選任基準を策定する際の参考とすることを目的としています。なお、その結果は現在集計中で、3月中には「学長選任基準」を公表できる見込みです。同時に、4月中の発足に向けて、この1月より学長候補者選考委員会委員を選出するプロセスに入りますので、この面でのご協力もよろしくお願いいたします。

次に、スーパーグローバル大学創成支援事業でも計画されているように、教育と研究の面に限らず、組織、人事、意思決定プロセスについてもグローバル化を図るため、上智学院全体のグローバル化推進を担う「グローバル化推進本部」を理事会の下に置いています。そして、ここで議論されるグローバル化への方針や施策の執行状況を客観的に評価するために外部評価委員会(アドバイザーボード)を設置しており、去る12月2日に今年度第1回目の会議が開かれました。この委員会は、各界のグローバル化の進展や先進的な取り組みなどの知見をもとに、本学のこれまでのグローバル化への戦略や取り組みを評価し、今後の活動に関し助言を与えることを目的としております。元副学長のジャン=クロード・オロリッシュ・ルクセンブルク大司教、三井住友銀行会長で現中央教育審議会会長の北山禎介氏をはじめ、本学と関わりの深い学外有識者10名が委員にご就任くださり、多くの建設的なご批判と励ましをいただきました。その詳細については、追って紹介される手はずになっております。

3) 教育・研究の基盤整備計画

第三は、GL2.0の重要課題の1つである教育研究の基盤整備計画の進捗状況です。

まずソフィアタワー(新6号館)の建設です。すでに皆様も日々工事が進み、その全容をご覧になっていることと思います。2月末には最上階の17階まで鉄骨が立ち上がり、3月中旬に上棟式を祝う予定です。2017年4月の完成後は、上智大学のシンボルタワーとなることが期待されます。併せて、2号館とソフィアタワーを3階で繋ぐブリッジの工事が進んでいます。このブリッジには、3月中にエレベーター2台が設置され、混雑の緩和が進んで移動が便利になります。

次に3,4,8,9号館の改修状況です。現在、おもに理工学部の研究室及び実験室の仮移転を順次進めており、今年は8号館への仮移転を行い、2017年から3号館の本格的改修が始まる予定です。これらの校舎は、以前に行った耐震改修工事で構造上の安全性は確保されているのですが、給排水設備や空調設備などについては更新が遅れていました。今回の大規模改修によって、内装や照明設備を含めて完全にリニューアルされ、快適な教育研究環境に生まれ変わります。

さらに国際学生寮は、すでに世田谷の祖師谷に開設されていますが、それとは別に、おもに留学生を対象とする国際学生寮の建設計画を進めています。JR信濃町駅から徒歩3分という非常に便利な場所で、一般財団法人真生会館の所有する土地を借用する計画については、すでにご案内しておりますが、この度、無事に土地賃貸借契約を締結しました。約1,239平方メートルの土地に、シェアハウス形式で150名程度を収容する国際学生寮で、2017年4月の開設を目標としています。今後も世界各国からの留学生の増加が見込まれますが、その受け皿になるでしょうし、さらなるグローバル化の進展が期待されます。

3. エピローグ:「叡智(ソフィア)が世界をつなぐ」の実現に向けて

2016年も、GL2.0の改革構想を着実に実行し、「叡智(ソフィア)が世界をつなぐ Sophia - Bringing the World Together」をさらに実現していきたいと思っております。私自身もこの2月には、本学アジア人材養成研究センターとアブサラ機構(アンコール地域遺跡保存整備機構)が共同で実施する国際貢献、アンコール・ワット西参道の第2・第3工区修復工事の起工式に出席するためにカンボジアへ、また3月には、昨秋学術協力に係る覚書を締結した西インド諸島大学との関係を強化し、同時に現地のイエズス会学校を訪問するために中米カリブ海のジャマイカとトリニダード・トバゴを訪問する予定です。

このようにイエズス会やカトリックのネットワークを活用し、国内外のさまざまな教育機関との連携を強化して「世界に並び立つ大学」へとさらに進化し、“Men and Women for Others, with Others”(他者のために他者とともに生きる)という教育精神を身に付けた人をよりよく育成したいと望んでおります。もちろんそのためには、上智学院に加わる中学高校4校を含め、すべての教職員と役職者、ソフィア会と各校の同窓会、後援会の皆様のご協力、また近隣の方々のご協力とご支援が欠かせません。このなかには学生と生徒たちも加えるべきでしょう。

さらには、上智で行われている教育イノベーション・プログラムや教職協働イノベーション研究にみられるような、教職員の皆さんの叡智を活かした自発的、自主的な改革も求められます。新しい上智学院のさらなる発展のために、どうぞいっそうのご協力をよろしくお願いいたします。あらためまして、皆様、新年明けましておめでとうございます。

以上